



# 交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！ 令和5年12月号

まちづくり社会実験  
「キサイチゲート」  
大団円のうちに閉幕！

12月3日、私市駅前広場  
で、9月から数え第4回目  
となる最後のキサイチゲー  
トが、開催されました。

今回は、おりひめ大も加  
わる「子どもたちの未来を考  
える団体の会」がプロデュ  
ースする「親子ウォーク  
」も実施。植物園・水辺ブ  
ラザを親子ウォークエリア  
とし、最後は「交野こそだ  
ちベアストモス」で身  
も心も温まる空間に立ち寄  
って頂くイベントとしまし  
た。大勢の親子がキサイチ  
ゲートを飛び出して、楽し  
んでいました。

「子どもたちの未来を考  
える団体の会」は、子ども  
たちとその親たちを対象と  
して交野市内で活動してい  
る13団体で構成されます。  
目の前の親子が必要な支  
援が見えた時、各団体の強  
みを知っていたら、繋げる  
ことができ、その親子のよ  
り良い幸せにつながるこ  
とができる。そんな未来を  
目指して、情報交換から始  
めています。

今回は、これら団体やそ  
の関係者も含め、キサイチ  
ゲート過去最大の約20店舗  
が出店！私市駅前広場が、  
アートやライブ、ワークシ  
ョップそして食材にあふれ  
るマルシェへと、そして広  
場内はクリスマスイルミネ



ーションで飾られ、ステキ  
な空間に大変身！

9月に植えられたエデ  
イブルガーデンの野菜も見  
事に成長、前日に希望する  
親子で収穫され、親子ウォ  
ークエリアでの「交野子ど  
も食堂コラボ」で美味しく  
提供されました。

おりひめ大学からは、カ  
フェ部とクラブトビール部  
を中心に。冬の寒い時  
期に温まるカレーや薪スト  
ーブで煮込んだポトフ、冬  
場をイメージして仕込んだ  
クラブトビールなどを提供  
し、それぞれ完売！たくさ  
んの来場者のお腹と心を満  
たしていました。

夕方のイルミネーション  
点火式ではその場にいた参  
加者皆で見守り、カウント  
ダウンと共に一斉に灯った  
カラフルな色彩に、感嘆の  
声が上がっていました。



聖なる歌声で迎えた点灯式

みだす社会実験として始ま  
ったこのイベントですが、  
今回は、スタツフ側にもた  
くさんの「交わり」が。  
ライブやワークショッ  
プで、来場者とスタツフが  
一体となった笑顔が、とて  
も印象的でした。

今回、総合プロデューサー  
として、獅子奮迅の活躍  
だった勝谷氏に、これまで  
の振り返りを聞いたとこ  
ろ、「参加団体が連携し、  
自分たちが住むまちの駅前  
の在り方を、広場の所有者  
である京阪HDと一緒に考  
えられたことは、大変よい  
経験になった。篠崎学長と  
のトークセッションで語っ  
たように、「交野おりひめ  
大学」というプラットフォーム  
があるから、人と人との  
偶発的な出会いがあり、  
誰も予測できないおもしろ  
い化学反応が起きるのでは  
ないか。人と人との「交  
わり」が生まれる、そんなプ  
ラットフォームがまちにあ  
ることは、幸せな事だと実  
感した。キサイチゲート  
は、これでいったんお休  
みをいただくが、来年以降  
も、また一味違ったキサ  
イチゲートをお見せしたい。  
」と語ってくれました。

さあ、来年以降はどんな  
キサイチゲートが登場する  
のか、ワクワクしますね。

また、親子ウォークエ  
リアでも、親子を中心に楽し  
める様々なプログラムを用  
意、ネイチャーゲーム、読  
み聞かせ、子ども食堂にお  
やつ・お茶の提供など、駅  
前を起点にしたこの私市エ  
リアの可能性を強く感じさ  
せてくれる内容となりました。

交野おりひめ大学も、こ  
の一年間多くの方のご支  
援をいただき、本当にあり  
がとうございました。  
どうぞみなさま良い年を  
お迎えください。

「交わり」を目的とし、  
都市と郊外の関係人口を生



↑交野おりひめ大学  
入学申し込みページです。